

国政補欠選挙で立民党候補が全勝(3勝)

～平岡秀夫総支部長が亀井あき子候補(島根1区)の応援に駆け付け

島根1区	亀井 亜妃子(立民・元)当選 ● 82,691票
	錦織 功政(自民・新) 57,897票
長崎3区	山田 勝彦(立民・前)当選 ● 53,381票
	井上 翔一郎(維新・新) 24,709票
東京15区	酒井 菜摘(立民・新)当選 ● 49,476票
	須藤 元気(無・新) 29,669票
	金澤 結衣(維新・新) 28,461票

(以下 略)

3つの選挙区共に立憲民主党の公認候補者が当選しましたが、その結果は次の通りです。

本年4月28日、島根1区、長崎3区及び東京15区の3つの衆議院議員選挙区での補欠選挙が、全国統一国政補欠選挙として行われました。

平岡秀夫山口2区総支部長は、選挙期間中の4月24日、戸倉多香子山口2区総支部幹事長と共に、片道4時間の自動車による移動をかけて、島根1区の立憲民主党公認候補の亀井あき子氏の応援に駆け付けました。

亀井あき子陣営は、島根県内外から多くの方々の応援を受け大変盛り上がりつつあり、下馬評どおり大差で当選を果たしました。衆院選に小選挙区制が導入されて以来、島根県は全国で唯一自民党が選挙区の議席を独占してきましたが、今回初めてその「保守王国」の一角を崩した結果となりました。



冒頭、平岡総支部長は島根1区の補欠選挙の結果に触れ、今回の勝因は裏金問題の逆風が自民党に吹いただけでなく、自民党の有力政治家を国会に送り出しているにもかかわらず島根県が発展しているという感じになっておらず、その閉塞感を亀井氏が訴えたことにもあると分析。その上

5月18日、立憲民主党の岡田克也幹事長を迎えて、岩国市の「玖珂こども館」において、多数の来場者のご出席のもと第3回りっけん山口オープンミーティングが開催されました。

平岡秀夫総支部長 岡田克也幹事長を迎え オープンミーティング開催

岡田幹事長は今国会の審議に触れ、①裏金問題：自民党が提出してきた政治資金規正法改正案がきわめていい加減で危機感が欠如していること ②農業基本法の見直し：日本の食料自給率の改善のためには農業者収入で生活が成り立つ仕組み作りが必要で、高評価を得ながらも安倍政権に潰された戸別所得補償制度を、政権交代の暁には新たな形で導入するつもりであること ③子育て支援金：岸田内閣は、当該支援金の財源を公的医療保険の保険料に上乗せして徴収する閣議決定をしているが、本来は国会の審議を経て税金でまかなうべきであり(租税立法主義)、与野党の審議

で、日本の出生数の減少が止まらない現状や、岩国市の人口が将来大きく減少する推計を示し、地方の活性化には出産や子育てをより重視した政策を実施すべきとの考えを示しました。

また、平岡総支部長と岡田幹事長は、オープンミーティング開催前の早朝、姫野敦子岩国市議とともに、岩国市地方卸売市場で毎月第3土曜日に行われている「ふれあい朝市」を視察。朝市開始前の準備をする業者の方々や買い物を持つ大勢の方々から、「がんばってよ」「応援しちよるよ」と声をかけていただきました。



さらに、次期衆院選について語り、場合によっては数カ月以内に行われるかもしれないとの認識を示し、あらためて平岡総支部長への支持を訴えました。

を蔑ろにして重要事案を進める岸田首相の姿勢に懸念を呈しました。

また、平岡総支部長と岡田幹事長は、オープンミーティング開催前の早朝、姫野敦子岩国市議とともに、岩国市地方卸売市場で毎月第3土曜日に行われている「ふれあい朝市」を視察。朝市開始前の準備をする業者の方々や買い物を持つ大勢の方々から、「がんばってよ」「応援しちよるよ」と声をかけていただきました。